

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	今後は、利用者の意向や思いの把握が、介護計画の短期目標(サービス実施内容)に反映できる取り組みに期待したい。(利用者の意向や家族からの具体的な希望の聞き取りと、目標も実現可能な具体的内容にするなどの工夫が望まれる。)	ご利用者とご家族様の関係性を高め、ご本人が可能と思われるニーズをあげ、具体的に誰が見てもわかりやすい表現で記載する。また、担当者だけで作成せず周りの意見を取り込みチーム全体で情報を共有しサービスの実施を図る。	①ご本人様・ご家族様の意向に沿ったサービスを展開する。 ②毎回同じような意向に偏らないよう、ご本人様・ご家族様と話す場を設け直近の意向をお聞きする。 ③チーム内のカンファレンス頻度を増やす。	6ヶ月
2	10	今後は、利用者家族に「写真付き・コメントを添えたお便り」などを定期的に送付し、意見交換ができる双方向性の取り組みに期待したい。	各ユニット担当者からお手紙と写真を添えて近況報告する仕組みを作る。また、事の大小かかわらず些細なことでもご家族様へご連絡し状態をお伝えする。これによりご家族様からの信頼を得るようにする。	①月に一度のお手紙(写真つき)を開始する。 ②担当者を決め毎月2回は電話連絡する。 ③運営推進会議等へ参加して頂く。 ④伊川谷独自の広報誌を作成しご家族へ送付する。	3ヶ月
3	1	地域密着型サービスとして何が大切かを事業所で考え、独自に作りあげた理念であることが期待されます。(理念・基本方針・指針・目標など名称は問わない)	全職員が地域密着型サービスの特徴を理解した上で、施設独自の方針を掲げモンファミーユ伊川谷の特色が出せる内容にしていく。	①地域密着型サービスの役割を研修を通じて知識を得る。 ②職員からの意見を吸い上げ、特色が全面に出る方針を作成する。 ③作成した方針を朝礼などで唱和する。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。